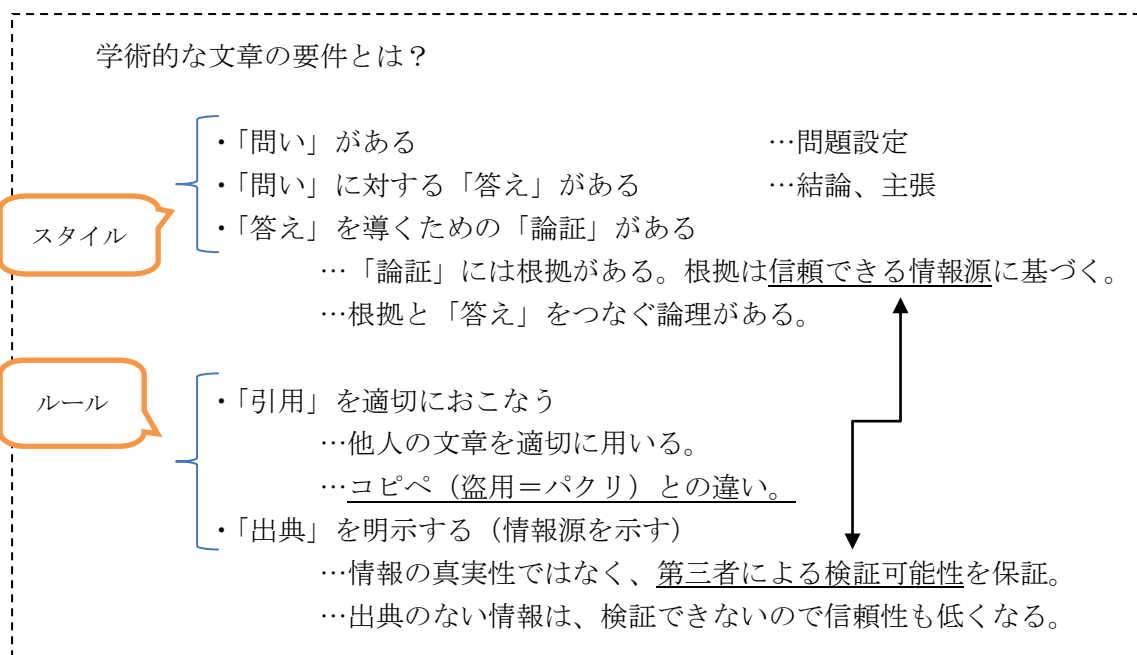
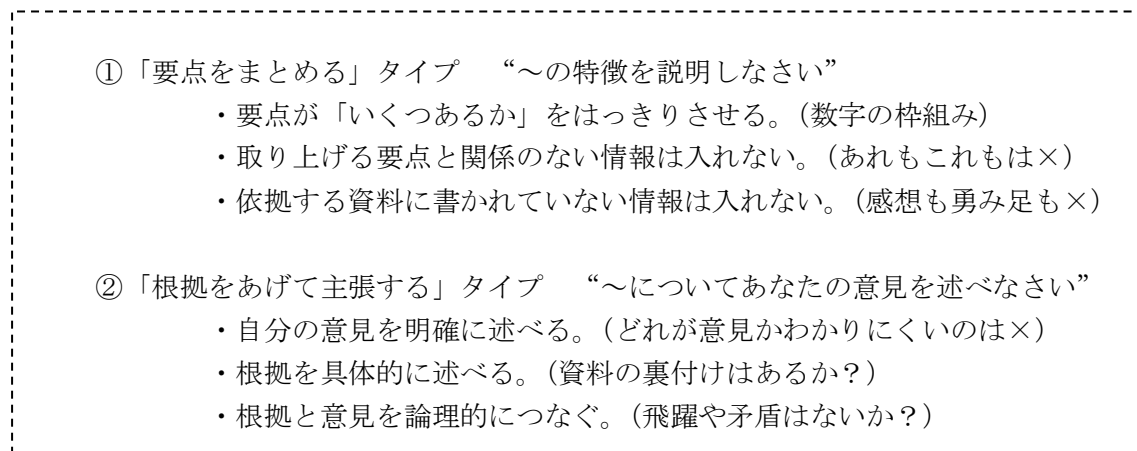


第3回「根拠をあげて主張するタイプ」までのあらすじ

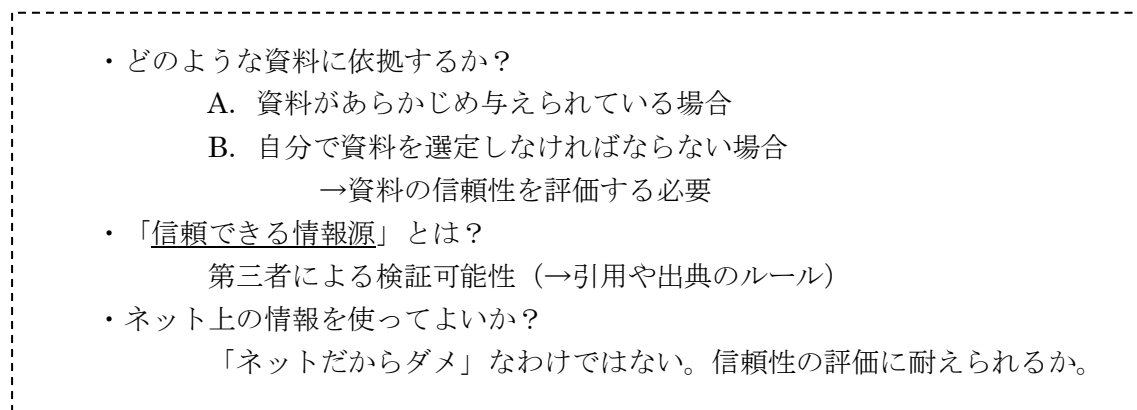
- ・レポートは「学術的な文章」である。(以下の要件は、課題により部分的に省略されうる)



- ・レポート課題で求められる「作業タイプ」には3つある。(組み合わせて出題される)



- ・レポート作成では「信頼できる情報源」に依拠する。



第4回＝最終回「異なる意見を検討するタイプ “～について論ぜよ”」

12/16月（井上）・12/17火（上岡）

- ・意見を述べる際には、異なる意見の可能性も検討しよう！
- ・複数の意見を比較検討することで、自説の説得力が増す
- ・3タイプの合わせ技でレポート課題を攻略しよう
- ・適切な引用方法と参考文献の書き方(3)

【4・1】前回のおさらい（前頁参照）

【4・2】「異なる意見を検討する」タイプの課題文の例

（帝京大学八王子キャンパスの過去のレポート課題より。一部加工）

A. 議論の道具立て（学説や考え方）を整理したうえで、特定の事象への適用の妥当性を検討する

10. 逸脱行動に関する主要な学説を要約した上で、現代日本の少年非行の特徴について論じなさい。【複数意見を整理して、実際場面への適用で競わせる！】
12. ナショナリズム研究における「近代主義」と「原初主義」の違いを説明したうえで、現代日本のナショナリズムの特徴について論じなさい。【複数意見を整理して、実際場面への適用で競わせる！】
14. 損害賠償における過失責任から無過失責任への流れについて記述した後、東日本大震災における東京電力の賠償責任についてあなたの考えを述べなさい。【複数意見を整理して、実際場面への適用で競わせる！】

B. 競合する考え方を自分で設定したうえで、具体的な事例を手がかりに、それらを比較検討する。

7. 『平成22年度版犯罪白書』の36ページを読んで重大事犯者の処遇について論じなさい。【複数意見を競わせる！】
15. 「環境と倫理」に関するテーマからひとつを選び、それに関連する文献を少なくとも1冊以上読んだ上で、それを踏まえながら自分の意見を論理的、客観的に論述しなさい。【複数意見を競わせる！】

C. 対象の切り口（視点）、道具立て（複数の考え方）およびフィールド（適切な事例）を自分で設定したうえで、議論する。縛りがなく自由度が高いぶん、もっとも厳しく力量が試される。

1. 我が国の介護制度について論ぜよ。

★レポート課題の形式としては、A<B<Cの順に難しくなる。Cのような“シンプル”なタイプは、AやBのような具体的な条件を補ったかたちに書き換えてみるとよい。（→【4・4】）

【4・3】「異なる意見を検討する」は社会でも役に立つ（できないと困る）

- ・「根拠をあげて主張する」と「異なる意見を検討する」の違いについて論じなさい。

【4・4】「異なる意見を検討する」課題の例

課題 「わらしび長者」について論じなさい。

- ・対象（テキスト）以外は何の縛りもないが、自由に論ずるのがもっとも難しい（上述のCタイプ）。
- ・次のように、テーマ（切り口＝視点）を設定すると、論ずる方向性が見えてきやすい。

課題* 「わらしび長者」における見返りの期待について論じなさい。

- ・これだけで自分のやるべき作業の見通しが立てば、学部生としては上級レベルにある。
- ・「見返りの期待」という切り口（視点）で読み直すと、どのような読み方が可能だろうか？——と問うてみればよい。これでもまだピンとこない人は、次のような論争の場面を想像してみる。

課題** 「わらしび長者」には、主人公が困っている人を助けた結果「良いこと」が起こる、という出来事が繰り返してでくる。この物語が「見返りの期待」について伝えようとしてるメッセージの解釈をめぐる、AさんとBさんの間で次のように意見が分かれた。

A：これは「見返りを期待しない人助けの大切さ」を伝える物語である。

B：これは「他人への善意は自分にも返ってくる」ことを伝える物語である。

自分の意見はAとBのどちらに近いか考えなさい。それを選んだ理由を説明しなさい。
また自分と異なる意見に対して反論しなさい

- ・大学1年生のあるクラスでこのワークをやってみると、それでもなかなか難しいことがわかる。
 - ①「AとBどちらかを選ぶ」・・・これは誰でもできる。問題はその後。
 - ②「なぜそれを選んだか（意見）」・・・一方の意見に徹する。根拠を一貫した論理。
 - ③「異なる意見に対して反論する」・・・相手の根拠に踏み込む。自説との差異を際立たせる。
- ・②ができていても、③が難しいという人は多い。③ができない人は、じつは②も弱いことが多い。
- ・「相手にも一理ある」と思うのが正直な気持ちだとしても、それでは差異があいまいになる。
- ・異なる意見を検討するためには、「あえて」ひとつの意見に徹してみる、「あえて」相手の論拠に踏み込んで反論してみる、という演技性が重要。この「あえて」が出来るか否かが、中級レベルの分かれ目である。（二つの立場に分かれてこれを意識的・方法的にやるのがディベートである。レポートや論文ではこれを自分ひとりでやらなければならない。）

■ポイント

- (1) 与えられたテーマ（切り口＝視点）のもとで可能な、競合する異なる意見を整理する。
 - ・1つの意見に徹して、一貫した論理を組み立ててみる
 - ・その意見の視点から物語を読みなおし、根拠を集める
- (2) 異なる意見の成立の根拠にさかのぼり、解釈が妥当となる条件を検討する。
 - ・どちらの意見にも一理あるとすれば、どこで対立するのか（何の違いなのか）？
 - ・本当に対立しているのか？ 双方を調停する論理はないか？
- (3) 結論（自分のとる立場）を明確に述べる。
 - ・自分はどちらの意見を支持するか、あるいは別の（第3の）意見を提示するか
 - ・結論に至った理由を述べる

■ 「異なる意見を検討する」タイプの解答例

課題* 「わらしび長者」における見返りの期待について論じなさい。

(共通の書き出し)

「わらしび長者」の物語は、見返りの期待の是非という観点から、2つの異なる読み方が可能である。

【1】1つ目は「見返りを期待しない人助けの大切さ」を伝える物語である。息子は本文で「なんちゅうめぐり合せじゃ。一本のわらしびが葉っぱになって、みそになって、刀になって…」と驚いている様子である。また、泊めてもらった家の人からいきなり家と馬を交換してくれと言われ、いきなり大きな家の主人になった。これらのことから息子は見返りを期待していないと考えられる。2つ目は、「他人への善意は自分にも返ってくる」ことを伝える物語である。物語を通して子ども達に伝えるという観点から見ると、実際息子は人を助けたことで最後に百万長者になり、娘と結婚でき、本文に「ずっと幸せに暮らし」とある。なので [したがって全体としては]、人を助けることで自分にも返ってくると [いう物語になっていると] 考えられる。

両者の違いは、物語の内容で見るか、物語を通して人々に何を伝えたいのかという視点 [の違い] である。私は、物語は読者に何かを伝えているものだと思うので、“助ける”という人に良いことをしたら、いつか自分にも良いことがくるだろう、助けた人も助けられた人も笑顔になれると子どもに教える物語であると考える。[→もっと整理して書いてみよう！]

【2】見返りを期待していないと読み取ることができる場面は、一晩泊めてくれたおばあちゃんに対して何の見返りも求めずに家を出て行こうとしたことである。一方、見返りを期待していると読み取ることができる場面は、さむらいに馬をくれと言っていることである。この2つの場面の違いは主人公が相手に対して、物が欲しいかを言葉にしているか、していないかの違いであるが、馬をくれと言っている場面では馬が復活するとは知らずに貰っているから見返りを期待しているとは私は考えることはできない。

物語全体ではまるで主人公が見返りを求めていたようにも感じるが、このように場面を細かく見ていくと一概にそうとは言えない。このことから [→これは]、物語を細かく読み取ることが難しい子供には他人に優しくすれば見返りがあるということを伝えているが、この物語を子供に読み聞かせている大人が人助けには見返りが必要ないと気付かされる物語になっていて、そうやって [→いる。そのように] 昔から今まで読み継がれているのではないだろうか。[→もっと整理して書いてみよう！]

【3】私はAとBの立場での違いは見返りという言葉が重要になっている [の定義の違いである] と考えた。むすこは困っている人を手助けした後にお礼をもらっている。Aの立場で言えば [は]、このお礼があることが [手助けとお礼は] お互いの優しさであり結果は [何が返ってくるかは] 想像もつかないので [お礼は] 見返りでないと考えるが [のに対して]、B [の立場で] は返ってくるであろうお礼を見返りと読み取っていると考える [るのである]。見返りの定義がそもそもの違いであっての対立であると思う [そもそも違うので、対立するように見えるのである]。

この考えから、「わらしび長者」が伝えたいのは見返りの期待の是非が中心のAとBの考えというよりも、善意を受け取ったら善意を返すことが大切でその姿勢がよいことにつながるというAでもBでもない考えだと思った。[→もっと整理して書いてみよう！]